

大垣市都市再生整備計画事後評価委員会（大垣市中山道赤坂宿周辺地区）

日 時：平成22年11月24日（水）

16：40～17：15

場 所：大垣市役所 2階 第2会議室

— 内 容 —

1. 開会
2. 概要説明
 - (1) 事後評価制度の概要説明
 - (2) 大垣市中山道赤坂宿周辺地区における都市再生整備計画の経緯説明
3. 議事
 - (1) 事後評価手続き等に関する審議
 - ①方法書について
 - ②成果の評価について
 - ③実施過程の評価について
 - ④効果発現要因の整理について
 - ⑤事後評価原案の公表について
 - (2) 今後のまちづくりに関する審議
 - ①今後のまちづくり方策について
 - ②フォローアップ計画について
4. 閉会

— 出席者 —

評価委員会

| | | | |
|-----|----------------|----|----|
| 委員長 | 岐阜大学地域科学部教授 | 西村 | 貢 |
| 委員 | 名城大学都市情報学部長 | 大野 | 栄治 |
| 委員 | 元社団法人岐阜県技術士会幹事 | 米田 | 順一 |

事務局

| | | | |
|------------------------------|-----|----|--|
| 大垣市企画部長 | 大江 | 英 | |
| 大垣市企画部政策調整課長 | 寺嶋 | 太志 | |
| 大垣市企画部政策調整課主査 | 堀本 | 直紀 | |
| 大垣市企画部政策調整課主任 | 須田山 | 智成 | |
| 大日コンサルタント株式会社都市・交通計画グループ課長代理 | 岩田 | 裕憲 | |
| 大日コンサルタント株式会社都市・交通計画グループ | 山田 | 淳大 | |

— 議事録 —

【司会（寺嶋政策調整課長）】

資料のご確認をお願いします。中山道赤坂宿周辺地区の次第、それから、先程と同様なスケジュール。それから、パワーポイントの検討資料で概要説明資料。それから、事後評価方法書、評価原案、事前意見になります。

それでは、概要説明ということで、（１）の事後評価制度の概要説明と、（２）の大垣市中山道赤坂宿周辺地区におけるまちづくりの経緯説明をさせていただきます。

— 説明省略 —

【司 会】

概要説明をさせていただきましたけれども、先程と同様に、議事の方を進めながらということで、西村先生、よろしくお願ひいたします。

【委員長（西村委員）】

今度は中山道赤坂宿周辺地区ということで、まず、方法書の作成という第１項目についてお願ひをいたします。

— 説明省略 —

【委員長】

ありがとうございました。これも事前に見ていただいて、大垣の場合、中心市街地と同様、方法書に従って事後評価は適正に実施されていることを確認したという記載でよろしいかと思ひます。

それでは、引き続き、成果の評価について、説明をお願いします。

— 説明省略 —

【委員長】

今回、４つの指標がそれぞれクリアできたということで、まず、指標１の観光ボランティアガイド案内人は既に超えているんですかね、この時点で。一応、年度末に年間の最終というか、総集をやるということですかね。

【事務局（須田山主任）】

フォローアップして、２２年に全部事業が終わったということで、来年度末は最終的に

人数を確認することとしています。22年度中はまだ事業を行っております。

【委員長】

また1年半後か。

【事務局（須田山主任）】

そうです。1年半ございます。全部事業が終わって、そこから1年間計りなさいというふうになっています。23年度の案内人数になっていますので、1年後の4月、5月、そのあたりで数値がでてきますので。

【委員長】

そういうことになりそうですね。

各委員からの事前のご意見でも、事業効果はあらわれて、目標は達成されているという評価でよろしいかと思えます。

次に、指標2の滞在時間についてですが、これはアンケートをとった時期はいつですか。

【事務局（須田山主任）】

アンケートをとった時期は平成22年度なんですけれども、8月から9月ですね。

【委員長】

何か意味があるんですか。

【事務局（須田山主任）】

8月になった理由なんですけど、都市再生事業の事後評価の方法書が認定されたのが6月になりますので、それ以降じゃないと、アンケートをやっていいという許可が出ないものですから、その後にアンケートを行いましょうということで、どの地区からということで、こちらの方法書を作成したときに、実際にどういうふうに事業を進めましょうか、事後評価を行っていきましょうかとなったときに、話し合いをする中ではこの時期になってしまったというのが理由です。

【委員長】

暑い時期によく3時間も滞在したなど。むしろびっくりしているんですが、それよりも、やる時期が、お祭りがあるじゃないですか。

【事務局（須田山主任）】

中山道赤坂宿まつりがあります。

【委員長】

それは何月。

【事務局（須田山主任）】

11月です。

【委員長】

このぐらいの時期でしょう。

【事務局（須田山主任）】

その時期まで待ちますと、今回の事後評価まで間に合いませんので、その時期にやらせていただいたという形になります。

【委員長】

23年のアンケート調査でフォローアップするわけ。

【事務局（須田山主任）】

ちょうど紅葉とかもきれいな時期になりますので、もう少し時期をずらせば。フォローアップのときは、11月にやる予定になっております。

【委員長】

16年度はいつやったんですか。

【事務局（須田山主任）】

11月です。

【委員長】

やっぱり同じときにやらないと。

【事務局（須田山主任）】

本当はそうなんです。今回、どうしても難しかったものですから、見込み値という形にさせていただいております。夏の時期でこれだけ伸びていますので、16年はお祭りのときにアンケート自体をやっておりますので、秋になれば、多分増えると思います。

【米田委員】

これはアンケートをとるときに、時間だけアンケートをとられたのか。

【事務局（須田山主任）】

いえいえ違います。時間以外も説明もしております。

【米田委員】

それならいいんですけど、その他に何かアンケートはとられておると思うんだけど。例えば、幾らぐらいお金を使われたかとか。変な話じゃないけど、そんなようなこともあると、来てもらったときに、先程の話じゃないけど、そういうことも色々考えられたら。

【事務局（須田山主任）】

フォローアップのときに、そのような設問を入れます。

【委員長】

指標1との関係で、滞在時間とそういうものと観光ボランティアの認知度というか、利用度というか、そういう感じで合わせ業でわかる感じの項目があるといいですよ。これも施設整備によって目標が達成されていることを確認したということにしましょう。

次に、公園緑地ですが、公園の方は施設整備をやって目標が達成されているという状況ですね。

【大野委員】

ただ、予定より大きくなるということについて、人口が減っているということで、いいことなのかどうかというのは疑問です。

【米田委員】

私が書かせてもらったのは、徒歩圏域の範囲の面積比率はどうかということですね。そこら辺を掌握しておらんと、今言ったように、いろんなギャップが出てくると思うんです。そこら辺を今後ですけれども、項目についても人口プラス、徒歩で何メートルという感じの比率の調査をされるといいのかなと思います。

【委員長】

面積が書いてありますね。公園緑地面積で4.94ヘクタール、16年度の1万195人で割ると、1人当たりがどれくらいになるのか。

【事務局】

4.8です。

【委員長】

だから、人口減少によってではなく、公園緑地の拡大によって、16年度人口の公園面積の目標値を16年で1人当たり3.8平米となっているやつを4.7に上げよということ

きに、同一人口で直しても、4.7を超えているという計算だよね。だから、そういう形も含めて目標達成ということ強く出せばいいんじゃないですか。

ここだけ見ていると、人口減少によって、同じ面積なんだけど1人当たりが増えたみたいな、そういうふうに見えちゃうんで、そうじゃなくて、面積増加によって増えているのが主因で、プラスして人口減少によって4.8人となるようなところが5.0となってその辺を記載をした上で、そういう要因を設定した上で目標を達成しているという表記でいいんじゃないか。

次に、指標4について、防災訓練の参加人数、これも目標を達成していると。

【事務局（須田山主任）】

見込み値ですので、まだ実際見込み値ですので、見込みとしてはそのまま数字を上げているんです。

【委員長】

これ、せっかくだから、住民に整備を理解させとかないといけないのではないか。僕の住んでいるのは一宮なんですけど、一宮は日ごろは駐車場になっているんです。洪水が発生すると、車は高いところに避難させておいて、どのぐらいの空間でということがわかっているわけ。でもそういう使い方じゃないもんね。

【事務局（大江企画部長）】

そうですね。もう完全に上は駐車場になっていますので。

【委員長】

中は全然見えないね。最近、よくそういうのを見せている市があるんで、こういうところに税金が使われているみたいな。

最近、防災訓練参加者への義務づけられた動員じゃなくて、訓練に参加したいと。施設見学は随分入れているので、そういうものの利用の仕方はできないんですか。

防災訓練について、参加者を増やす評価としては、施設整備により達成が見込まれると。

以上が指標についての成果の評価です。

次に、実施過程の評価ということで、説明をお願いします。

— 説明省略 —

【米田委員】

公園事業で、中止になったところと追加になったところがあったということで、けれども何も数字は変えないよということなんだけど、実際に面積なんかは変わったのか、そん

なに言うほど変わってなかったのか、それはどうなのかな。変わっているんなら、指標の問題がそのままちょっとおかしいんじゃないのということになりますので、この辺はどうですか。言いたいことは、面積が変わるということなら変えなきゃいけないんじゃないのということです。

【事務局（須田山主任）】

こちらは、公園事業は削除追加となっていますけれども、削除した事業の部分も公園事業で追加した分は同じ面積ということでございます。

【委員長】

これも計画どおり実施したということですのでよろしいですね。

次に、庁内会議についてということで、効果発現要因ということですね。

— 説明省略 —

【委員長】

ボランティアガイドの人数はどこか出てこないんですね。案内人数は出てくるけど、それを地元で担っているガイド数は。

【事務局（須田山主任）】

ガイド数なんですけど、こちらにつきましては、特に増えているというのではなくて、ボランティアガイドになるためには、市の中で検定というか、そういう講習を受けていただいて、何人かにやっていただくということになってはいますが、ボランティアガイドについては、今後、団塊の世代の方が受講されて増えてこればいいのかなという想定はしているんですけど、今、この5年間の中では増減があったというのは聞いておりません。

ただし、赤坂まちづくり楽校とかでやる中で、ガイドしていただいたりすることによって、住民の方がガイドの存在を知っていただいたとか、そんなことも聞きましたので、今まで全然知らなかったという方がいらっしゃいましたので、このまちづくり楽校をやったことによって増えたというのも面もあるかなあと考えております。

【委員長】

今まで、目標を達成するのに適切に実行されているということは、地域を振興していくかということですね。特定の1人よりは、10人ぐらいがフル回転しているのかということになると、その後継者はどうするんだとか。

【米田委員】

逆に今だったら、ボランティアガイドがまだ余っているよということがあるのか、今は

ちょうど適正な人数なのかよくわからないんですけど。もっと観光客がふえるぞということなら、もうちょっと増やすということで、市としてもそういう管理をしていったらどうですか。

【事務局（須田山主任）】

確かにその辺の検証について、ガイドさんが受け入れていただいているということは適正なのか、まず人数が多過ぎるとなれば、多分ガイドさんを減らしてほしいという要望になるでしょうけど、今のところ要望がないということは、適正なのか、少ないのかどちらかという形になっていますので、今後、そのようなお話ということで、その他の指標の意見の中でこういうお話をさせていただきましたので、関係課の方にその辺のことはどうなのかということは確認していきたいと思います。

【委員長】

そうですね。今後評価としては目標どおり達成されているということにして、ガイドの質の向上と増加だよね。それは一番下のその他のところで、今後のまちづくり活動にかかわる方向性のような心得というか、注意事項というか、ということでまとめさせていただきたいと思います。

次に、原案の公表の妥当性について、説明をお願いします。

— 説明省略 —

【委員長】

前半の大垣の中心市街地と同様に実施されておるということであります。

その他は、特になしということですね。

それから、事後評価の妥当性の中でこれも妥当である。

今後のまちづくりについての審議の方策についての方策の作成ということを説明してください。

— 説明省略 —

【委員長】

整備事業としてはわかるので、問題なく進んでいるが、要はソフトといいますか、案内、取り組み状況です。フォローアップについてということで、これも計画通り実施すれば問題ない。

【事務局（須田山主任）】

方法書に従ってフォローアップ計画を立てていくというものになります。

【委員長】

その他のところは、今後のまちづくりの方策についての審議。もうちょっとガイドの人たちももっと楽しみながらやれるといいですね。ただ、専門ガイドは検定試験を受けられたり、個人のあれでもいいですけど、すそ野を言われているんだと思いますね。だから、もっと地域のしっかり学習をして基礎知識を高めて、関心を持つということですね。

【事務局（寺嶋政策調整課長）】

先程ご議論された内容に関連してですが、A4の様式2の(4)の「今後のまちづくり方策の作成」というところをご覧ください。添付様式5-③に、今後のまちづくりで想定される事業として、観光ボランティアガイドの育成支援をあげています。これは、当然、質も量も含めてのことです。

【委員長】

まちづくり楽校をもっと活性化させることですよね。仕組みをつくったんだから、その仕組みというか、組織のフル活用というか、そういう趣旨でまちづくり楽校の活用をしていくということだと思います。今後のまちづくりの方策についてはしっかりなされている。

その他は特になしというご意見です。これで、一応すべての項目について検討しましたが、委員さんからご意見があれば再度お伺いして、会議を終わりたいと思います。

【米田委員】

特にありません。

【大野委員】

特にありません。

【委員長】

それでは会議を終わります。

【司 会】

長時間にわたり、慎重審議をいただき、誠にありがとうございました。これをもちまして、大垣市中山道赤坂宿周辺地区の事後評価委員会を終了させていただきます。

本当に皆様には、大変お忙しい中、貴重なお時間を割いていただきましてありがとうございました。今日いただきました意見をもとに、内容を整理させていただきます。国の方へ提出し、最終的には3月頃に公表するということになっております。

また、今年度からですけど、奥の細道むすびの地周辺整備が始まっております。今回の都市再生整備計画に続く新しい計画づくりということで、23年度以降の新たな都市再生

整備計画を策定し、社会資本整備総合交付金を活用したまちづくりを進めていきたいと思
いますので、皆様方には今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして大垣市都市再生整備計画事後評価委員会を閉じさせていた
だきます。本日は誠にありがとうございました。